



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 272
2019/09/01

今月の一枚

今月のイベント

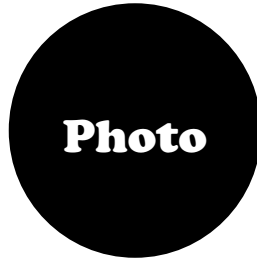
参加者募集

GREEN COLUMN

01. 絵模様つき^{れき}礫を考える
02. 見分けてみようススキとオギ



今月の一枚



「収穫の夏、調査の夏」

表紙写真・文／八重柏誠

美幌町では7月末頃になると、大きなコンバインが小麦を収穫していきます。今年は、お盆前にほぼ収穫が終わったようで、例年になく順調な収穫だったようです。

小麦の収穫が終わると、埋蔵文化財の調査が始まります。猛烈な暑さの中、体調に気をつけながら調査を実施しています。

今年は新たな遺跡が見つかるでしょうか？

Event. 今月のイベント

企画展「絵を描く心～岸本裕躬作品より」 ～10月20日(日)

「美幌博物館でお宝をさがせ！」 9月1日(日)～29日(日)

ロビー展「国立アイヌ民族博物館 PR 展」 9月7日(土)～23日(月)

講演会「美幌のアイヌ文化ー北海道・樺太・千島のなかで」 9月7日(土)

体験イベント「アイヌの楽器、ムックリを作ってみよう」 9月8日(日)

プチ工房「やってみよう！草木染め」 9月11日(水),13日(金)

博物館講座(自然編)「菌類湿原〈林〉を見に行こう」 9月29日(日)

Information. 参加者募集

講演会「美幌のアイヌ文化ー北海道・樺太・千島のなかで」

●9/7(土)16:00-17:30 ●美幌博物館2F 視聴覚室 ●無料 ●申込み不要。小学年生以下は保護者の同伴が必要。

体験イベント「アイヌの楽器、ムックリを作ってみよう」

●9/8(日)10:00-11:30 ●美幌博物館1F 講座室 ●保険料(100円) ●八幡巴絵,竹内隼人(国立アイヌ民族博物館設立準備室) ●美幌博物館へ電話申込み(-9/4)。キャンセルは9/4まで。それ以降は保険料100円がかかります。対象は小学生から一般。小学生以下は保護者の同伴が必要,定員24名で締切。

「美幌博物館でお宝をさがせ！」

●9/1(日)-29(日)9:30-17:00 ●美幌博物館 展示室 ●展示室観覧料(高校生以下は無料),9/15(日)と9/16(月)はどなたも無料 ●美幌博物館スタッフ ●申込み不要。受付で用紙を受け取り、宝探しに挑戦してください。(お一人様1日1回限り)

博物館講座(自然編)「菌類湿原〈林〉を見に行こう」

【観察会】 ●9/29(日)9:00-12:30 ●美幌町内(集合解散は美幌博物館) ●保険料(100円),野外で活動できる服装(長そで,長ズボン,帽子),長靴,軍手,虫除け,雨具 ●枝澤則行(ふるさと美幌の自然と語る会) ●美幌博物館へ電話申込み(9/1-25)。キャンセルは9/25まで。それ以降は保険料100円がかかります。対象はどなたでも。小学生以下は保護者の同伴が必要,定員25名で締切。

プチ工房「やってみよう！草木染め」

●9/11(水),13(金)10:00-12:00,14:00-16:00 自由に入室。作品ができれば終了
●美幌博物館1F 講座室 ●材料費(400円) ●城坂結実(美幌博物館) ●申込み不要。小学校3年生以下は保護者の同伴が必要

今月の休館日

● ●
2日, 9日
17日, 24日
30日

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用,持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN

グリーンコラム

絵模様つき^{れき}礫を 考える

写真・文／八重柏誠



美幌町指定文化財の中に、絵模様つき礫があります。昭和61(1986)年、みどり2遺跡の発掘調査現場から見つかったこの礫には、円形と放射状の線を組み合わせた模様が描いてあるのが特徴で、縄文時代の祭祀儀礼のための石器と考えられています。調査翌年に刊行された発掘調査概要報告書によると、礫からは動物性の脂肪が検出されたとの記述が見られることから、黒色の顔料と動物の脂肪を混ぜ合わせて描かれたのではないかと考えられてきました。そこで、ラードと粉末状の炭を混ぜて、礫に模様を描くことが可能か実験してみました。

絵模様つき礫は、焼かれた痕跡を残していることから、先に模様を描き、礫を焼いたもの、焼いた礫に模様を描いたものの2種類を作りました。すると模様を描いた後に焼いたものは、脂肪が熱で溶け、顔料が礫全面に広がっ

てしまい元の模様がわかりません。先に礫を焼きその後に模様を描いたものは、溶け出す前に焦げ付き模様が残るようです。

次に石の質について比べてみました。礫の表面がツルツルのものとザラザラのものそれぞれに模様を描いてみました。礫が冷えた後、水で洗うとツルツルのものは模様が消え、ザラザラのは模様が残っていました。絵模様つき礫の素材は砂岩^{さがん}です。現代にまで模様が残っていたのは、表面がザラザラな砂岩の礫に模様を描いたからかもしれません。

今回の実験結果には疑問もあります。線の太さから指で模様を描いているようにみえますが、焼けた石に描くのは難しいでしょう。施文具^{せもんぐ}(模様をつける道具)は何だったのか。これからも実験を行い、絵模様つき礫の秘密を解き明かしたいと思います。

02 GREEN COLUMN グリーンコラム

見分けてみよう ススキとオギ

写真・文／城坂結実



今年たいいんたいようれきの中秋の名月は、9月13日（金）です。中秋の名月は、注太陰太陽暦で8月15日の夜に見ることができる月を指すので、満月とは限らないそうです。今年も、満月は中秋の名月の翌日です。

さて、中秋の名月といえばススキを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。美幌町の市街地から美幌峠に向かって車を走らせると、国道243号線沿いにたくさんのススキを見ることができます。ススキはイネ科の植物で、白くフワフワしている部分がススキの花です。

国道243号線沿いには、ススキにとってもよく似たオギ〔荻〕という植物も見られます。外観はほとんど同じですが、近づいて観察すると区別ができます。見分けるポイントは、花の部分に「のぎ〔芒〕」と呼ばれる針状の突起（写真矢印）があるかないかです。

写真左が「のぎ」があるススキの花、写真右は「のぎ」がないオギの花。『オギにのぎなし、ススキにのぎあり』という覚え方もあるようです。

また、ススキはまとまって生えるのに対して、オギは1本1本がばらけて生えるのも見分けるポイントになります。遠くから見ると、ススキに比べてオギの穂の方が白く見える、という説もあります。

秋の夜長に、ススキとオギをじっくり観察してみるのも楽しいかもしれません。

注明治5年まで日本で使われていた暦。月の満ち欠けをもとに1カ月の日付が決められていました。（国立天文台ホームページ <https://www.nao.ac.jp/astro/sky/2019/09-topics02.html> 8月20日閲覧）

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



.....
とてもおいしいキノコとして知られているタモギ
タケ。美幌町内で採取したので、標本にしようと
乾燥機に入れたところ ... ものすごくよい香りが
漂ってきました。標本にしたことを、少し悔やみ
ました。(城坂)